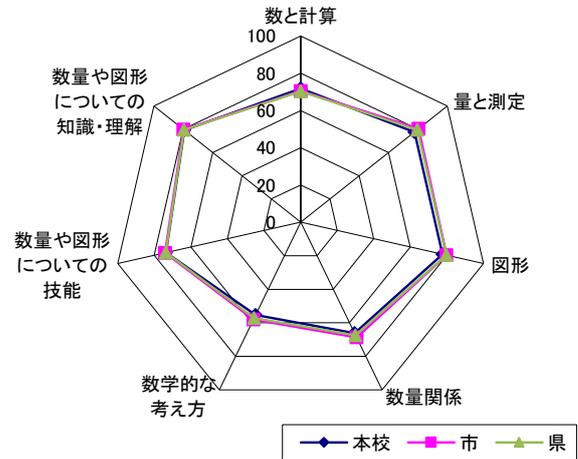


宇都宮市立横川西小学校 第4学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	71.8	70.5	70.3
	量と測定	77.6	80.4	79.6
	図形	77.6	79.8	79.7
	数量関係	66.2	68.7	67.5
観点	数学的な考え方	55.4	58.0	57.2
	数量や図形についての技能	73.6	74.1	73.7
	数量や図形についての知識・理解	79.3	79.9	79.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>○加減に関する問題の正答率は90.8%と高く、市・県の平均を5ポイント以上と大きく上回った。</p> <p>○小数や分数に関する問題の正答率は83.1%で、市や県の平均を上回った。</p> <p>●乗除の問題に課題が見られた。特に、わり算では文章問題から立式し答えを求める問題の正答率が低かった。</p>	<p>・問題点を把握し、朝の学習や家庭学習、ミニテストなどを活用して継続的に学習を続け、基礎的内容の定着を図っていく。</p> <p>・問題に対して、図・数直線・言葉・式などを用いて自分の考えを表す活動を積極的に取り入れたい。</p>
量と測定	<p>○はかりの重さを読み取る問題や、およそ1kgの物を選ぶ問題の正答率は、市や県の平均とほぼ同じであった。</p> <p>●Kmで表された長さをmの単位に換算する問題や時ごとと時間の問題に課題が見られた。</p>	<p>・学習内容の理解を深めるため、生活と結びつけた問題や、類題に積極的に取り組ませたい。また、くり返し問題に取り組むことで学習内容の定着を図りたい。</p>
図形	<p>○円の直径を選ぶ問題や、折った紙を切ってできる図形を選ぶ問題の正答率は、市や県の平均とほぼ同じであった。</p> <p>●ボールのに入った筒の高さを求める問題では、ボールの直径と筒の高さの関係を捉えることが難しかった。</p>	<p>・操作活動を取り入れることで、図形の仕組みやおもしろさに気づき、図形の知識や技能を高められるようにしたい。</p>
数量関係	<p>○棒グラフに関する問題の正答率は83.6%と高く、市や県の平均を上回った。</p> <p>●式が表している意味を読み取ったり、理由を記述したりする問題に対する正答率が低かった。</p>	<p>・文章問題を正しく理解できるように、言葉・数・式・図・表・グラフ・数直線などを用いて考えたり説明したりする学習を積極的に取り入れ、問題を解決する力を育てたい。</p>